

『野方地区で高齢者による交通立哨！』

12月24日(水)、役場野方支所においてグラウンドゴルフ・ゲートボール愛好者による交通立哨の出発式が行われ、国道269号沿いの3か所に分かれ、約100人の高齢者による交通立哨が行われました。

この運動は、交通安全協会野方分会(丸山義男会長)と、志布志地区安全管理青年部(市坪新悟部長)の呼びかけのもと、高齢者が事故に巻き込まれることがないように、自ら事故防止を訴えようと小中学校が冬休みになる前日に行われました。

野方駐在所の増田巡查長によると「野方地区では今年度の事故発生件数が昨年度の総数を上回っている状況で、非常に危惧される。このような運動が事故防止につながれば…」と話されていました。



『ふれあいフェスタのバザー益金を寄付！』

11月23日(日)に大崎ふれあいの里公園で開催された『2008ふれあいフェスタinおおさき』に出店していた大崎町商工会(安藤廣美会長)と商工会女性部(川崎美喜部長)が、バザーの益金を大崎町に寄付してくださいました。

お二人は「フェスタでは、あいにくの空模様にもかかわらず大勢の人が訪れ、私達が出店した温かい飲み物のサービスにも人だかりができ、大いに賑わいました。わずかではありますが、益金の一部を町のために役立ててください。」と話されていました。

『照日神社で67年ぶりの神舞奉納！』

1月1日(水)元旦、野方の照日神社本殿で、女性による神舞奉納が行われ、町内外から数多くの参拝者が訪れました。

舞を披露したのは、地元の日本舞踊教室に通う大野明日香さん(大崎第一中学校1年)と馬場香織さん(尚志館高校3年)で、二人は11月から練習を重ねて、67年ぶりに『浦安の舞』を復活させ優雅に舞い、訪れた参拝者は足を止めて見入っていました。

※浦安の舞は1940年(昭和15年)の『皇紀2,600年』を祝し、伊勢神宮で新たにつくられた女性による舞。

